

令和7年度九綜グループ社内労働安全衛生大会



【安全宣言】(熊本朝日放送受付)竹原 直子さん(向山小学校給食室:業務副責任者)村本 智純さん

CONTENTS

■表紙 令和7年度社内労働安全衛生大会	1	■特集	7
■社長挨拶	2	□特定技能生を新たに9名受け入れ	
■尾池副社長/松本専務挨拶	3	■TOPICS	8
第53期 経営指針/経営目標		□令和7年度社内労働安全衛生大会	
■3事業部より		□九綜感謝祭	
□建物総合サービス事業部	4	□伊藤部長・熊本県優秀技能者知事表彰受賞	
□総合人材サービス事業部	5	□編集後記	
□コントラクトフードサービス事業部	6		

御挨拶



九綜グループ
九州綜合サービス株式会社
熊本消毒サービス株式会社
尾池管財株式会社



代表取締役 尾池 幸子

新しい年の幕開けにあたり、皆様に謹んでご挨拶申し上げます。旧年中は格別のご支援を賜り、心より御礼申し上げます。

また、平素よりご指導ご鞭撻を賜っておりますお得意様各位、監督諸官庁ならびに関係企業の皆様には、改めて深く感謝申し上げます。

昨年、私たちを取り巻く環境は大きく揺れ動きました。世界的な不安定要因に加え、原材料費・エネルギーコストの高騰は続き、企業経営はこれまで以上に“判断の速さ”と“変化への適応力”が求められる時代へと突入しました。さらに国内においては、長らく続いた緊縮財政から積極財政へと政策の舵が切られ、社会全体が新たな成長局面へ向けて動き始めています。こうした大きな潮流の変化は、企業にとっても新たな挑戦と機会をもたらしています。

熊本においても、半導体関連産業の拡大により地域経済は活気づく一方、最低賃金が全国で最も高い上昇率となり、労働環境は大きな転換点を迎えました。人材確保の競争は激しさを増し、企業としての本質的な強さが問われています。

そのような中、弊社は昨年、新たに特定技能外国人9名を迎え入れました。多様な価値観を持つ仲間が加わったことで、組織は確実に厚みを増し、職場には新しい視点とエネルギーが生まれています。“人が集まる会社”ではなく、“人が育ち、活躍できる会社”へ。その実現に向けた大きな一歩となりました。

さらに、AI・ロボット技術の導入を加速させ、業務の効率化だけでなく、「人にしかできない価値」を最大化する組織へと進化することを明確に掲げます。変化を恐れるのではなく、変化を味方につける。その姿勢こそが、これからの時代を勝ち抜く唯一の道だと考えています。

私達が大切にしているのは、“まず相手に尽くす”という揺るぎない姿勢です。お客様に真摯に向き合い、課題を共有し、未来を共に描く。その積み重ねが信頼を生み、応援される企業へとつながります。これは時代がどう変わろうとも、弊社が守り続ける原点です。

2026年は午年。前へ進む力、挑戦を恐れない精神を象徴する年です。私たちはこの一年を「攻めの一年」と位置づけます。守りに入るのではなく、未来を切り拓くための挑戦を続けます。社員一人ひとりが主役となり、会社の未来をつくる。その覚悟を胸に、全社一丸となって前進してまいります。

本年も変わらぬご指導ご鞭撻のほど、何卒よろしくお願い申し上げます。皆様のご健勝とご多幸を心より祈念し、新年のご挨拶といたします。

御挨拶

新年あけましておめでとうございます。昨年は物価上昇や人手不足が続く中、初の女性総理大臣の誕生など、国内でも大きな変化が見られた一年でした。そうした環境下でも事業を支えていただいたお客様、そして日々の業務に尽力された従業員の皆さまに、心より感謝申し上げます。私たちのサービスは人の力で成り立ち、一人ひとりの働きが品質と信頼を支えています。本年も安全と健康を最優先に、より良いサービスと働きやすい環境づくりに取り組んでまいります。

取締役副社長 尾池 能

御挨拶

新年あけましておめでとうございます。旧年中は、ビルメンテナンス業務において、日々の点検や保守管理など、現場の第一線でご尽力いただき、誠にありがとうございました。皆さまの確実で丁寧な作業が、建物の安全と快適性を守り、お客様からの信頼につながっています。日々の責任ある取り組みに、心より感謝申し上げます。安全第一を基本に、品質向上と事故防止に努めてまいります。本年も引き続きよろしくお願い申し上げます。

専務取締役 松本 修一

第53期

経営指針

- ◆ 業績の向上
- ◆ 活力ある組織・信頼と評価ある組織[コミュニケーションの徹底(礼儀・礼節)]
- ◆ 人財の育成[個が光る社員育成]
- ◆ 変革の時代への迅速なる対応[スピード・顧客(相手)満足度・挑戦]
- ◆ 連続性の堅持[意識の改革(マンネリ化の脱却)・発想の転換(ピンチはチャンス)]

事業計画

- ◆ 多様化する環境変化を見据えた組織基盤の強化
 - ※サステナビリティな組織体制の確立(環境保護・社会開発・経済発展)
 - ・ダイバーシティの推進(それぞれの強みを活かす体制構築)
 - ・リスクリングによる人財育成(新しいスキル習得への挑戦)
 - ・生成系AIの活用(適正使用による業務の効率化)
 - ・人生百年時代の働き方促進(ワークライフバランスの確保)
 - ・健康経営の持続(ウェルビーイングの実現)

経営目標

- ◆ 売上の確保[事業部別及び支店別目標設定の確立]
- ◆ 利益の確保[経費の節減・業務の効率化の徹底]
- ◆ 安全衛生管理(巡回)の徹底
- ◆ ISO14001により信頼と評価を獲得
- ◆ 医療関連サービスマークの有効活用[清掃]

建物総合サービス事業部

～国立病院機構 熊本再春医療センター清掃管理業務を再受託～

令和8年4月1日より、熊本再春医療センター清掃管理業務を再受託いたしました。今回の受託は、県外の競合他社が参加した入札において、五十余年にわたり培ってきた【技術・知識・経験】を評価いただいた結果であり、現場のクリーンクルーや本社管理スタッフをはじめ、会社全体にとって大きな励みとなっております。これからも、品質向上と人材育成に引き続き取り組み、より高いレベルのサービス提供を目指してまいります。



～アビリンピック熊本大会2025に植田穂詩さんが出場～

令和7年6月22日に開催された熊本県障がい者技能競技大会「アビリンピック熊本大会2025」(独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構主催)のビルクリーニングA競技に、十善病院勤務の植田穂詩さんが出場しました。結果は惜しくも僅差で入賞には至りませんでしたが、植田さんからは「目標としていた結果には届きませんでしたが、最後まで全力を尽くせたことに悔いはありません。次の大会に向けてさらに練習に励みます。」と力強いコメントをいただきました。植田さんのポジティブで前向きな姿勢に、我々も大いに励まされる大会となりました。次回大会に向けて、会社としてのバックアップ体制をさらに強化し、出場選手のモチベーション向上と業界の発展に繋がるよう精進してまいります。



～わたSHIGA輝く障スポ2025～ 山下嘉浩さんが全国大会へ出場！

令和7年10月25日～27日に滋賀県で開催された第24回全国障がい者スポーツ大会「障スポ2025」の陸上競技に、表参道吉田病院勤務の山下嘉浩さんが熊本市代表として出場しました。結果は、100mで5位(12秒30)、400mでは3位(55秒81)と健闘し、見事銅メダルを獲得しました。山下さんからは「熊本市代表として全国大会という大きな舞台で走れることの喜び、そして何よりもメダルを獲得できたことが一番の思い出です」との感想を頂きました。



昨年は惜しくもメダルに届かず悔しい思いをされましたが、この1年間コツコツと積み重ねてきた練習の成果だと思います。山下さんの日々の努力と今回の素晴らしい結果に、心よりお祝い申し上げます。今後もさらなるご活躍を期待しております。大きな感動をありがとうございました。

～清掃の国家資格への挑戦～ ビルクリーニング技能士1級検定

くまもと森都心プラザ勤務の立田祐仁子さんが、現在ビルクリーニング技能士1級の取得に向けて挑戦されています。子育てと仕事を両立しながら、空き時間を見つけては、本社研修室でコツコツと練習に励んでいます。ビルクリーニング技能士は国家資格で、専門的な知識と技術を備えた清掃のプロとして認められるものです。中でも1級は5年以上の実務経験が必要で、学科と実技の両方で高い水準が求められる難関資格です。学科では清掃の種類や建物用途に応じた作業計画など幅広い内容が問われ、実技では床面や壁面の清掃作業等、さまざまな試験が実施されます。令和8年1月中旬に試験が行われ、3月31日に合格発表が予定されています。立田さんの努力が実を結ぶよう、皆さんで温かく応援していきましょう。

～宇土市健康福祉館 あじさいの湯 指定管理業務 再受託～

この度、熊本県宇土市より健康福祉館「あじさいの湯」指定管理業務を再びお任せいただくこととなりました。「あじさいの湯」は開放感あふれる大浴場やゆったりと休める休息スペースなど心身を癒す温かな空間を整え、浴室周辺には紫陽花が300株以上植えられており、6月には色とりどりの紫陽花を眺めながらの入浴が出来ます。今後とも地域の皆さまが安心して集い、笑顔で過ごせる場所となるよう、スタッフ一同、より良い運営に努めてまいります。



《館長より》「心も体もほっとできる、そんな施設であり続けたいと思います。どうぞお気軽にお越しください。」

～宇土市老人福祉センター・西部老人福祉センター 指定管理業務 再受託～

宇土市老人福祉センター・西部老人福祉センター指定管理業務を再びお任せいただくこととなりました。両センターは市民の皆さまが安心して集い、交流や健康づくりを行う為の福祉拠点です。入浴設備の他、機能回復訓練コーナー、健康相談室、娯楽室や多目的集会室を備え、趣味活動や仲間づくりの場として広く親しまれています。今後も地域高齢者の憩いと生きがいを支える施設として、より快適で温かな運営に努めてまいります。



《所長より》「気軽に立ち寄れ、笑顔になれる場所であり続けたいと思います。今後ともどうぞよろしくお願い致します。」



熊本市城南地域物産館 火の君マルシェ ～スタッフイチ押し商品～

《館長より》日頃よりご愛顧いただき誠にありがとうございます。城南地域物産館「火の君マルシェ」もおかげさまで11周年を迎えることが出来ました。これからも地域に根差し、皆さまに愛される施設を目指しスタッフ一同心よりお待ちしております。今回はスタッフおすすめ、選りすぐりの売れ筋商品をご紹介します。



私のおすすめは何といっても「にべさんちの苺」です！大人気の商品が今年も入荷しましたよ！つやつやで甘か香りがふわっと広がって、食べれば幸せ気分になれる一粒です。丁寧に愛情込めて育てられとるけん、口に入れた瞬間にじわ〜と甘さが広がって、どしこでん食べられます。お土産にも自分へのご褒美にも、ほんなこつおすすめです！

みなさんも、是非食べてください。

私のおすすめ商品は城南地域で採れた赤里芋です！皮がほんのり赤みを帯びているのが特徴で、ねっとりとしたコクに深い食感がたまりません！寒くなってきた今の季節、豚汁やお雑煮にも欠かせない食材です。ほくほくして口に入れると、とろける柔らかさ、寒さで冷えた体もほっこりと温まりますよ。



地元の農家さんが作られているお餅が私のイチ押し商品です！

米の甘みが「ぎゅっ」と詰まった味わいが魅力。焼いてよし、煮てよし。ぜんざいやお雑煮、きな粉もちにもぴったり。私はシンプルに砂糖醤油でいただきます！

今回ご紹介した商品以外でも、たくさんのお野菜・果物・加工品等を取り揃えて皆さまのご来店をお待ちしております。

コントラクトフードサービス事業部

～熊本市学校給食調理等業務を再受託！～

熊本市学校給食4校の調理等業務を、令和8年4月より再受託いたしました。夏場の調理場は気温が40℃を超えることも多く、そのような厳しい環境下で日々献身的に業務へ向き合ってくださいました調理員の皆さまの努力に、深く感謝申し上げます。現在は調理場への空調整備も進み、働く環境の改善が着実に図られています。子どもたちの成長を“食”で支援する学校給食は、大きなやりがいと社会的使命を持つ仕事です。安全で安心、そしておいしい給食づくりに引き続き全力で取り組んでまいります。



【更新施設調理員の皆様】

～外部アドバイザーによる責任者研修・現場モニタリングの実施！～

このたび弊社は、学校給食・食育分野の専門家として幅広くご活躍されている オフィス田中（代表：田中延子様）とアドバイザー契約を締結し、本年度よりモニタリング業務をお願いすることとなりました。田中先生は、文部科学省の学校給食調査官として長年にわたり学校給食の衛生管理・栄養管理に携われ、現在も全国の自治体・学校現場への指導、食育活動の推進、海外支援など多方面でご活躍されています。今回のアドバイザー契約により、弊社の事業運営における品質向上、衛生管理体制の強化、食育に関する取り組みの深化を図り、より安全で信頼されるサービス提供を目指してまいります。引き続き、皆さまのご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。



【責任者研修・現場モニタリングの様子】

～業務責任者に新たに2名が着任しました！～



【白坪小・奥村主任】

【下城南中・嘉悦主任】

熊本市学校給食では、新たに2名の業務責任者が着任し、現場に新しい視点が変わりました。今も第一線でご活躍されている先輩調理主任の皆さまのご指導と日々の取り組みにより、新任者も安心して業務に臨める体制が整っております。これからも私たちは、組織全体で力を結集し、より良い給食づくりに取り組んでまいります。今後とも温かいご支援をお願い申し上げます。

～しらかわのほどり「こども食堂」絶賛開催中！！～

毎月第一土曜日に開催している「しらかわのほどりこども食堂」は、地域の皆さまのご支援により、4年目を迎えることができました。子ども達の笑顔が広がる場としてだけでなく、地域住民が交流し、つながりを深めるコミュニティの拠点として着実に成長しております。物価高騰の影響で全国的に運営継続が難しい状況が報じられる中、当食堂が毎月開催を続けられているのは、食材等の提供にご協力くださる皆さま、そして運営を支えるボランティアスタッフの皆さまの温かいご協力の賜物です。心より感謝申し上げます。

子ども食堂は、「食」を通じて地域に活力をもたらす大切な取り組みとして、多くの皆さまに支えられながら歩み続けています。子ども達が安心して集い過ごせる場を提供できるよう、今後も尽力してまいります。引き続き、ご支援とご協力をよろしくお願い申し上げます。



特集 特定技能外国人を新たに9名受け入れ



【エルマ】



【プトリ】



【アルマ】



【ルル】



【マイ】



【アリヤー】



【レシタ】



【シファ】



【ニケン】

特定技能制度は、日本の人手不足が深刻な12分野において、一定の技能水準と日本語能力を備えた外国人材の就労を認める在留資格であり、技能試験と日本語試験に合格した人材が即戦力として活躍することを目的としています。弊社では11月13日にインドネシアから9名の特定技能外国人を受け入れ、新たな体制での取り組みを開始しました。人手不足の解消や安定した人材の確保、若い人材による職場の活性化、多様性を尊重した環境づくりを進めています。文化や言語の違いによる戸惑いもありますが、丁寧な指導を重ねることで確実に成長し、将来の戦力として活躍が期待される大切な仲間です。社員の皆さまには、引き続きご理解とご協力、ご指導をよろしくお願い申し上げます。



【レクリエーションでボーリング大会に参加】

～令和7年度九綜グループ社内労働安全衛生大会を開催～

九綜グループでは、令和7年度の「社内労働安全衛生大会」を開催し、社員一人ひとりの安全意識向上と職場環境の充実を図りました。

第1部特別講演「クレームを味方に顧客を獲得 ～カスハラに発展させないテクニック～」VIVI-un代表 内藤香里様を講師にお迎えし、クレーム対応の本質とカスタマーハラスメント（カスハラ）との違いについてご講演いただきました。長年勤務された熊本朝日放送での経験をもとに、相手の感情を受け止めながら冷静に対応する技術について、具体例を交えて講演されました。また、弊社の尾池社長とは中学校時代からの同級生というご縁で、交流の中で生まれたエピソードも紹介され、会場は和やかな雰囲気になりました。クレームを「改善のチャンス」と捉え、顧客満足度向上につなげる姿勢の重要性を再認識できる、大変有意義な講演となりました。



【VIVI-un 代表 内藤香里様】



【尾池 千佳子 社長】

続く第2部では、優良社員・優良職場・優良標語・永年勤続者・労災ゼロ職場の表彰を行い、日頃の努力と安全意識の高さを称えました。

冒頭の挨拶で尾池社長は、「厳しい経営環境が続く中、AI導入や外国人雇用の促進、DX推進などの取り組みを紹介し、時代の転換期に適応し、再び成長軌道へ戻すため挑戦を続ける」と述べました。また、全社で取り組んできた労災ゼロへの努力が実を結び、本年度は17件と、令和に入ってから7年間で最も少ない件数となったことを報告。

最後は全員で「労働安全宣言」を唱和し、安全意識のさらなる向上を誓い合いました。今後も全員で力を合わせ、労災0を目指し、安全な職場づくりを進めていきましょう。

～九綜感謝祭を開催～

令和7年10月18日、九綜感謝祭を開催いたしました。日頃よりお力添えいただいております九綜共栄会の皆様、そして現場で、日々努力されている社員の皆様へ感謝の気持ちを込めておもてなしをさせていただき、実りある時間を過ごすことができました。定番のステーキやカレーも大変好評でしたが、今回は副社長肝煎りの「まことラーメン」が即品切れになるほどの人気を博しました。また、特定技能（インドネシア）料理人による「アヤムケチャップ」も振る舞われ、こちらも大変ご好評をいただきました。次回もぜひご期待ください。



～伊藤部長・熊本県優秀技能者知事表彰受賞～

令和7年11月20日、県庁地下大会議室にて令和7年度熊本県職業能力開発促進大会が開催されました。式典において、本社伊藤允二部長がビルクリーニング技能士として全国大会での優勝経験や、現在、九州地区や熊本県の講師として活躍されていることで、ビルメンテナンス業界への貢献が評価され、熊本県知事より優秀技能者知事表彰を受けられました。誠にありがとうございます！今後の更なるご活躍を期待いたします。



編集後記…皆様、新年明けましておめでとうございます。この度、おかげさまで第91号の綜友が完成いたしました。新しい年を迎え、現場で働く皆さん一人ひとりの努力に改めて感謝いたします。本年も安全と健康を大切に、互いに支え合いながら、より良い職場づくりを進めていきましょう。

【編集部：伊藤、枇榔、川原、米岡】